

2025年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2024年11月20日
(東証プライム市場 4047)



関東電化工業株式会社
KANTO DENKA KOGYO

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

2. 業績見通し・今後の動向

3. 補足資料

損益計算書

- 売上高は半導体メーカーの稼働率向上による特殊ガスの増収があるものの、電池材料はEV市場の成長鈍化による需要減や技術支援料の減少により、▲35億円の減収。
- 営業利益は売上高の減収があるものの、原燃料価格の改善や棚卸資産評価損の減少により、+21億円の増益。
- 経常利益は為替差益の減少があるものの、営業利益の増益や受取配当金の増加により、+22億円の増益。
- 純利益は投資有価証券売却益の減少や環境対策費の計上があるものの、経常利益の増益により、+11億円の増益。

(億円)

	2024年3月期 Q2実績	2025年3月期 Q2実績	増減	増減率(%)
売上高	348	312	△ 35	△ 10.3
営業利益	△ 4	17	21	—
経常利益	1	24	22	—
税金等調整前中間純利益	4	20	15	337.0
親会社株主に帰属する中間純利益	2	14	11	456.5
1株当たり中間純利益 (円)	4.48	24.93	20.45	

貸借対照表

(億円)

	2024年3月末	2024年9月末	増減	増減率(%)
資産	1,253	1,217	△ 35	△ 2.8
現金及び預金	254	194	△ 59	△ 23.5
営業債権	161	161	0	0.1
棚卸資産	174	170	△ 3	△ 2.2
固定資産 (有形+無形)	497	535	37	7.6
負債	597	542	△ 54	△ 9.2
有利子負債	416	368	△ 48	△ 11.6
営業債務	83	94	11	14.3
未払法人税等	2	6	3	134.4
純資産	655	675	19	2.9
自己資本比率(%)	51.1	54.2	3.1	

基礎化学品事業部門

	2024年3月期 Q2実績	2025年3月期 Q2実績	増減
売上高	43	39	△4
営業利益	△0	△5	△5



【売上高】

有機製品の販売数量の増加はあるが、海外安値品流入の影響による販売価格の低下により減収

- ・か性ソーダ …… 一部品目の製造中止に伴う販売数量の減少と販売価格の低下により減収
- ・塩酸 …… 価格修正効果により増収
- ・トリクロールエチレン …… 販売価格の低下はあるが、販売数量の増加により増収
- ・パークロールエチレン …… 販売価格の低下はあるが、販売数量の増加により増収

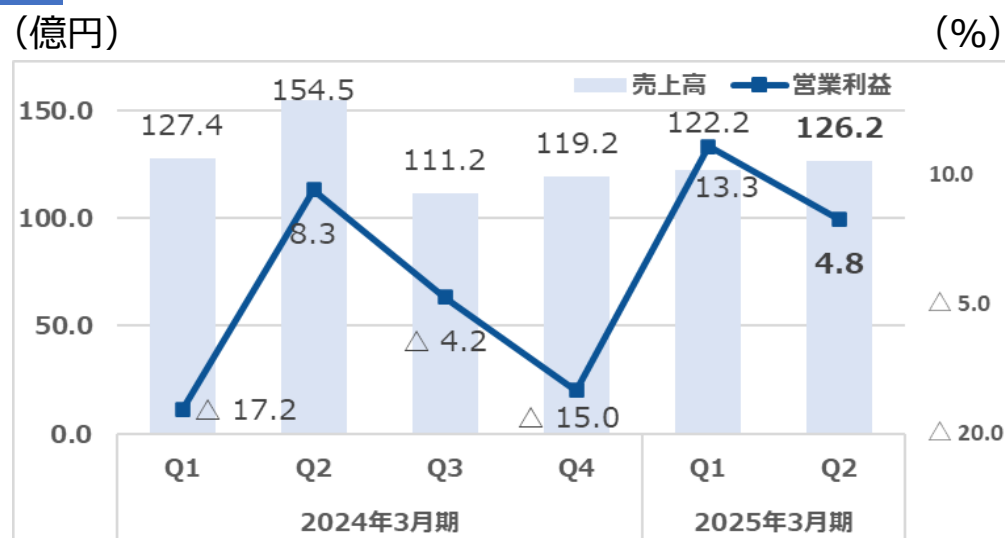
【営業利益】

売上高の減収と固定費の増加により減益

精密化学品事業部門

	2024年3月期 Q2実績	2025年3月期 Q2実績	増減
売上高	282	248	△ 33
営業利益	△ 8	18	27

(億円)



【売上高】

特殊ガスは増収だが、電池材料の販売数量の減少と販売価格の低下および技術支援料の減少により減収

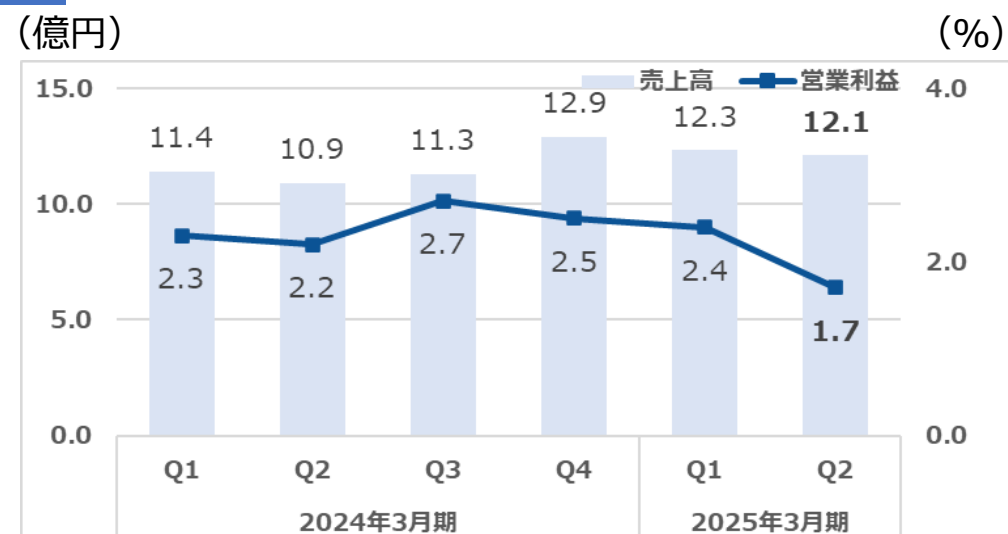
- ・三フッ化窒素・・・販売数量の増加により増収
- ・六フッ化タングステン・・・販売数量の増加により増収
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン・・・販売数量の増加により増収
- ・六フッ化リン酸リチウム・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収
- ・技術支援料・・・ライセンス契約による対価の減少により減収

【営業利益】

売上高の減収影響があるが、電池材料の原材料価格の改善、棚卸資産評価損の減少により増益

鉄系・商事・設備事業部門（連結調整を含む）

	2024年3月期 Q2実績	2025年3月期 Q2実績	増減
売上高	22	24	2
営業利益	4	4	△0



【売上高】

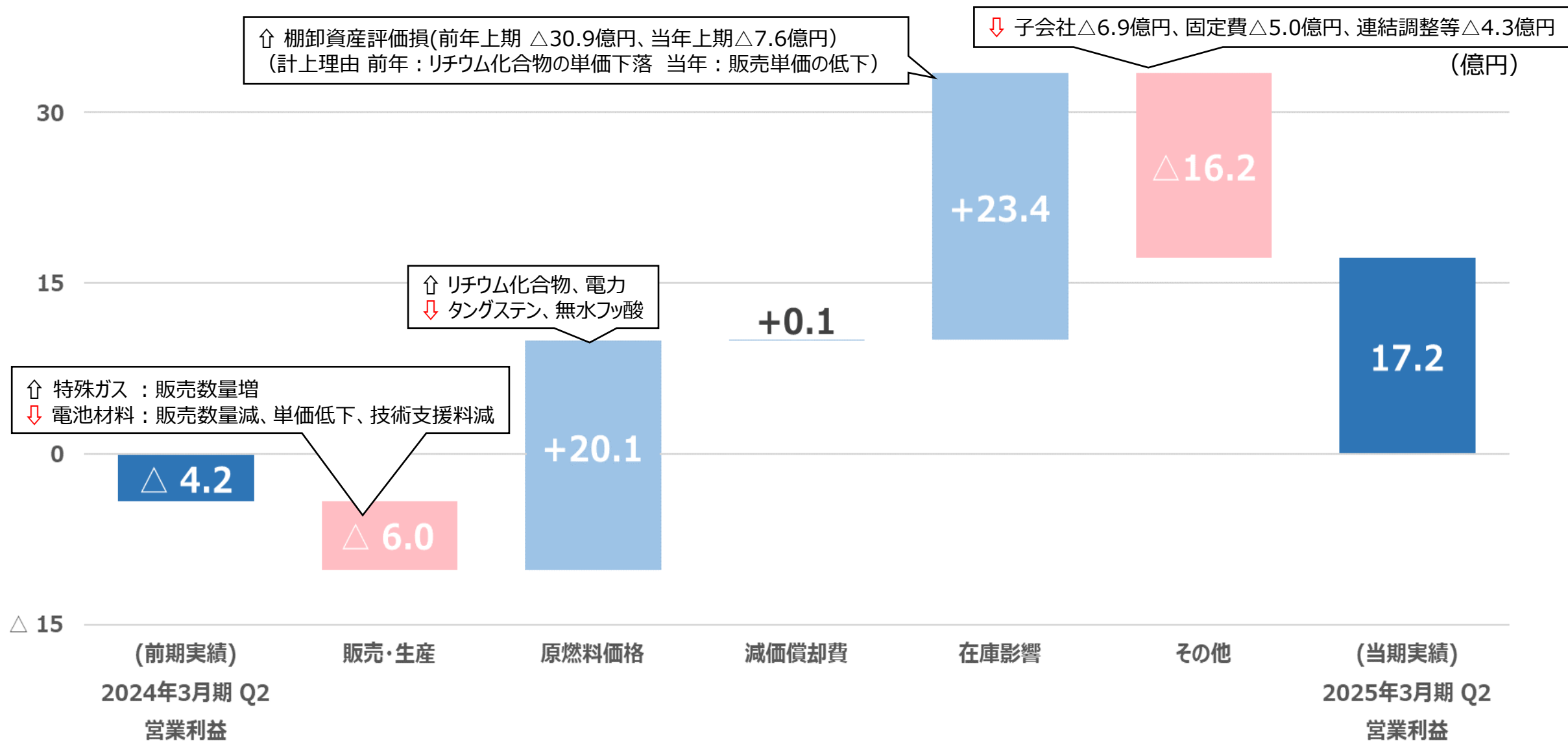
設備事業、商事事業は減収、鉄系事業は増収

- ・鉄系事業 … キャリヤーの販売数量の増加により増収
- ・商事事業 … 工業薬品の販売数量減少により減収
- ・設備事業 … 請負工事の減少により減収

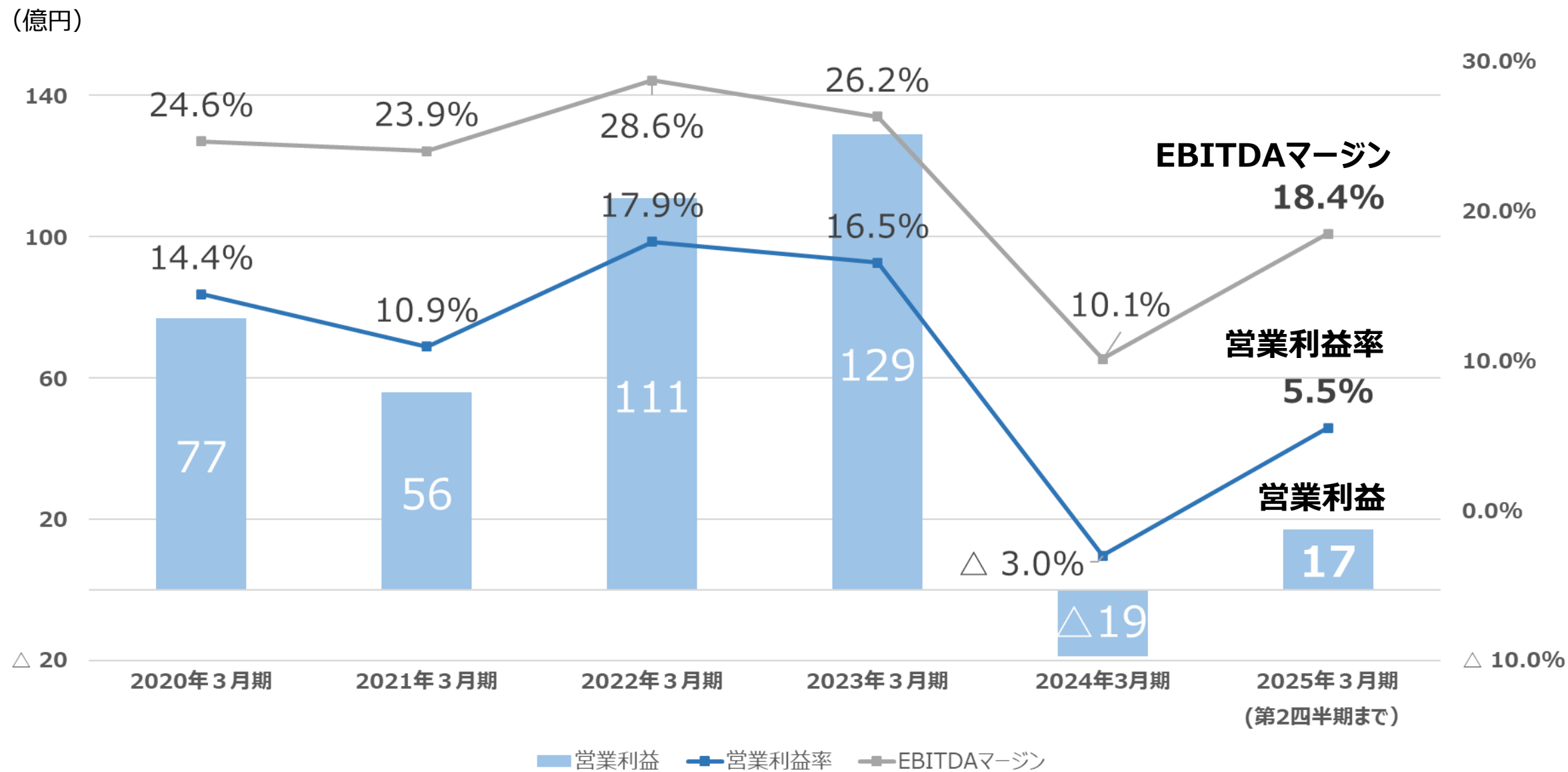
【営業利益】

鉄系事業の増収はあったが、商事事業、設備事業の減収の影響を受け、昨年度並み

営業利益差異分析（前年同期比較）

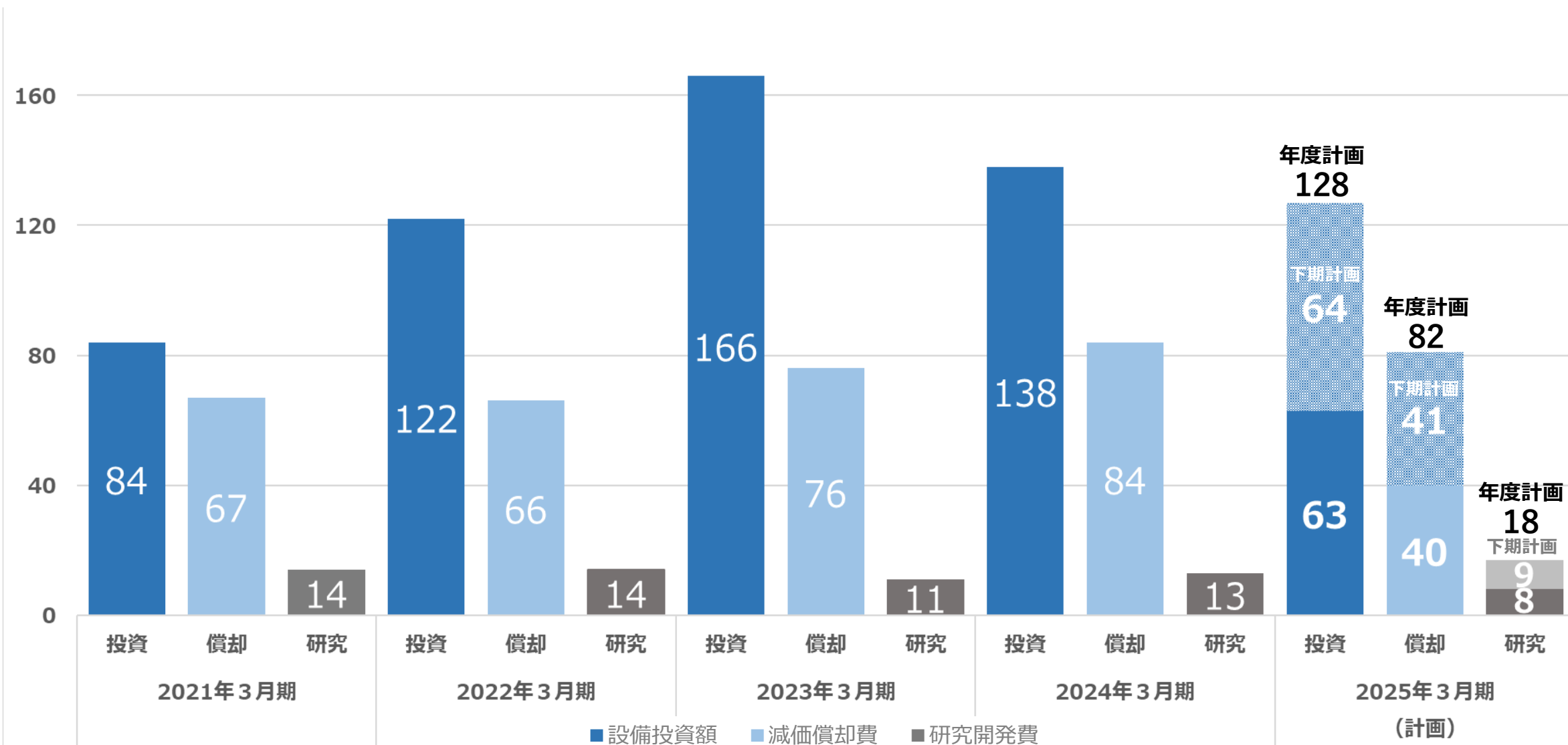


営業利益・営業利益率の推移



設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移

(億円)



関東電化グループ (連結子会社)

	資本金	出資 比率(%)	2025年3月期 Q2 売上高 (億円)	対前年 同期比 (億円)	主要な事業内容
関電興産	10百万円	100.0	36	△12	化学工業薬品の販売および 容器整備、保険代理店
上備製作所	120百万円	49.4	23	△4	化学工業用設備の製作・加工・修理
関東電化ファインテック	27百万円	100.0	2	△0	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA	3億ウォン	100.0	72	△6	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份有限公司	7百万NT\$	100.0	37	8	フッ素系製品の販売
関東電化ファインテック韓国	420億ウォン	100.0	16	△2	フッ素系製品の製造・販売
宣城科地克科技有限公司	50百万\$	98.3	0	0	フッ素系製品の製造・販売
		合計	187	△17	

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

2. 業績見通し・今後の動向

3. 補足資料

業績予想 (セグメント別)

(億円)

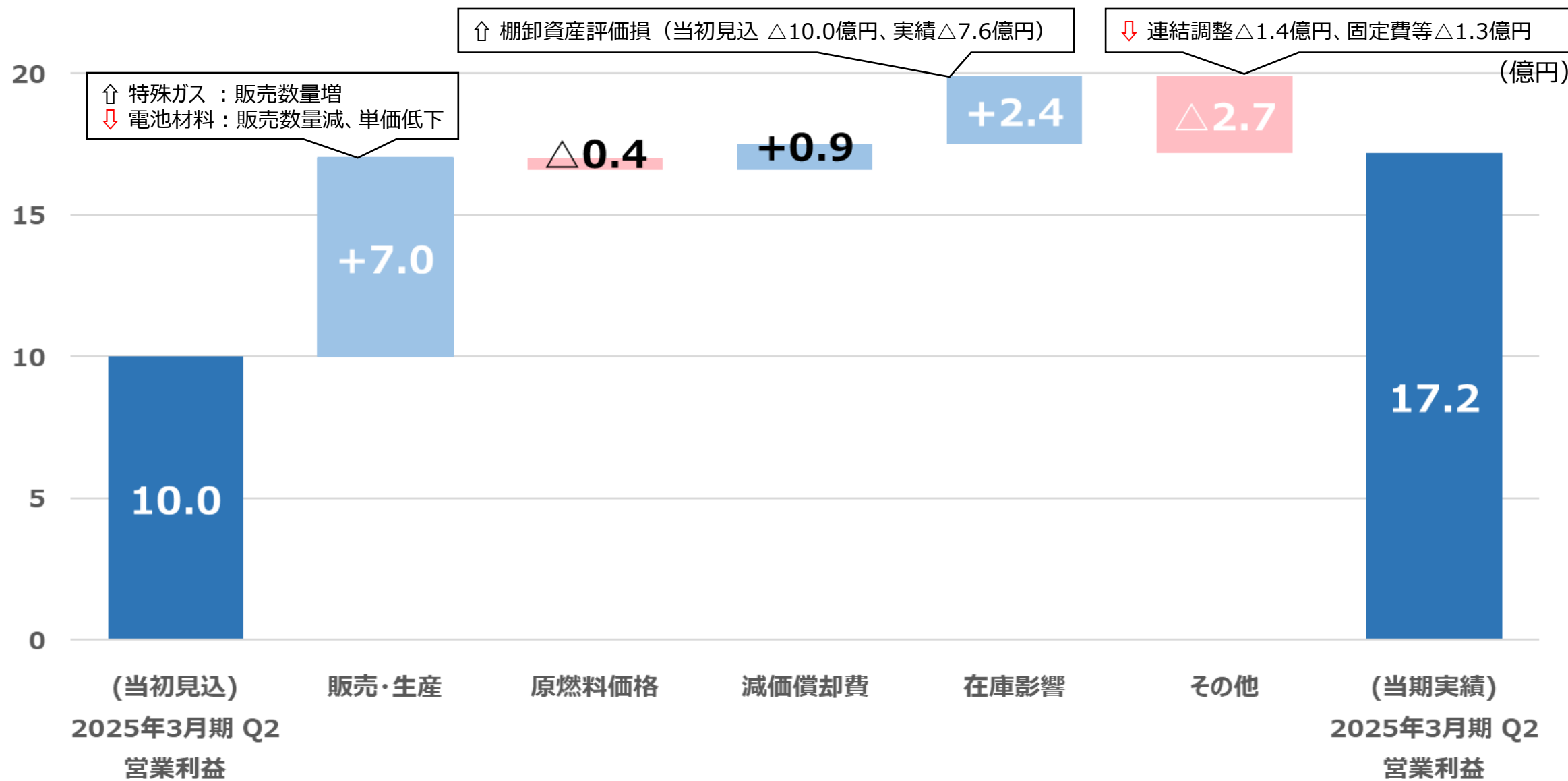
	売上高			営業利益		
	2024年3月期 実績	2025年3月期 当初見込	2025年3月期 見直し後見込	2024年3月期 実績	2025年3月期 当初見込	2025年3月期 見直し後見込
基礎	88	85	85	△1	0	△3
精密	512	560	500	△28	45	33
その他*	46	45	48	9	4	8
合計	647	690	634	△19	49	38
(参考)単体特殊ガス	333	407	414	13	30	45
(参考)棚卸資産評価損	-	-	-	△35	△3	△7
設備投資額	138	155	128	【業績予想前提】 為替レート : 150円/\$ ※ その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。		
減価償却費	84	87	82			
研究開発費	13	19	18			

当初上期見込と実績の比較 (セグメント別)

(億円)

	売上高			営業利益		
	2025年3月期 当初上期見込	上期実績	増減	2025年3月期 当初上期見込	上期実績	増減
基礎	42	39	△2	△1	△5	△3
精密	247	248	1	10	18	8
その他*	21	24	3	1	4	2
合計	310	312	2	10	17	7
(参考)単体特殊ガス	198	204	6	12	23	11
(参考)棚卸資産評価損	-	-	-	△10	△7	2
設備投資額	67	63	△3	※ その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。		
減価償却費	41	40	△0			
研究開発費	9	8	△0			

営業利益差異分析 (当初上期見込 対 上期実績)

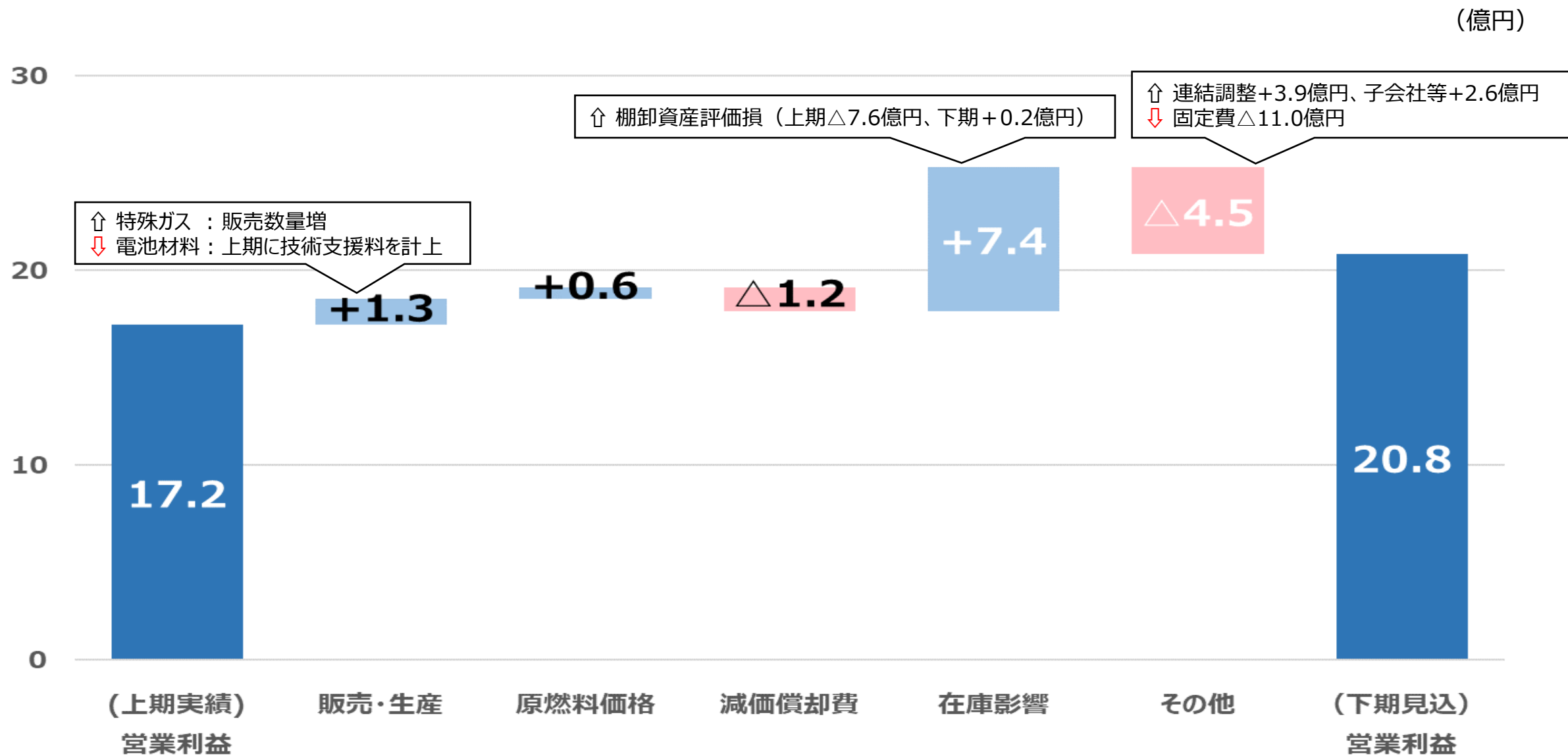


業績予想 上下比較 (セグメント別)

(億円)

	売上高			営業利益		
	上期実績	下期見込	増減	上期実績	下期見込	増減
基礎	39	45	6	△5	1	7
精密	248	251	2	18	15	△3
その他*	24	24	0	4	4	0
合計	312	321	8	17	20	3
(参考)単体特殊ガス	204	209	5	23	22	△1
(参考)棚卸資産評価損	-	-	-	△7	0	7
設備投資額	63	64	0	※ その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。		
減価償却費	40	41	1			
研究開発費	8	9	0			

営業利益差異分析（上期実績 対 下期見込）



基礎 化学品

- 国内市場への海外安値品の流入や、為替による原材料価格の高騰、設備老朽化による維持費増加により収益性が悪化
 - ▶ 採算是正のため、**無機製品の値上げ**を実施
 - ▶ **原材料供給機能に特化**した事業規模への再編を計画

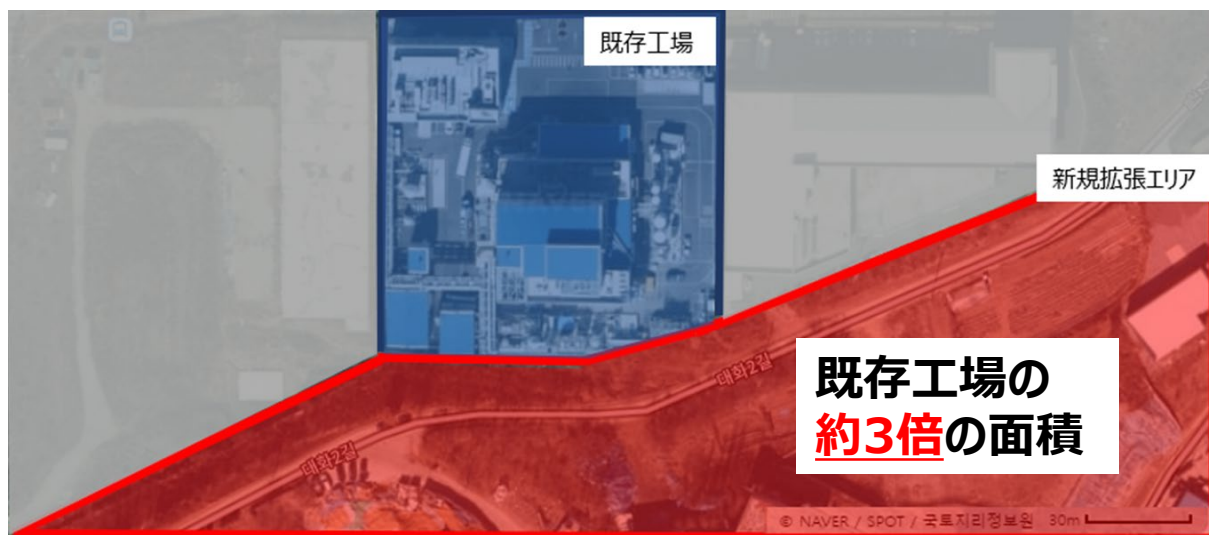
電池材料

- EV市場の成長鈍化によるLiPF₆の需要低迷に伴い、米国IRA法に係る引合の寄与は来年度以降へ延期
 - ▶ 現在、複数社より米国IRA法に関する引合を受けており、**国内唯一のLiPF₆メーカー**として、**米国IRA法に準拠した原料調達、設備対応、評価**を進めて行く
 - ▶ **米国でのライセンスビジネスの拡大**のため、**技術開発を前進**する
 - ▶ **リチウム回収技術の実証**を早急に進める

トピックス（海外工場）

韓国 関東電化ファインプロダクツ韓国

- 所在地 大韓民国忠清南道天安市
- 事業内容 半導体・FPD用特殊ガス類の製造・販売
- 生產品目 COS、CF₄、ClF₃
- ✓ 既存工場の隣地（2.5万m²）を新規賃借
- ✓ 生產品目は検討中



中国 宣城科地克科技有限公司

- 所在地 中華人民共和国安徽省宣城市
- 事業内容 半導体・FPD用特殊ガス類の製造・販売
- ✓ I期工事（フッ化アンモニウム）稼働中
- ✓ II期工事（WF₆、CF₄、C₄F₆）工事完成

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期以降
I期工事 フッ化アンモニウム	工場建設	生産・販売	
II期工事 WF ₆ CF ₄ C ₄ F ₆	工事	認定	生産 販売

トピックス (KSGシリーズ)

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
KSG[®]-14 主な使用先：メモリー	生産・販売	150t/yへ増強 生産・販売		
KSG[®]-5 主な使用先：メモリー、ロジック	生産・販売			
売上高 計画 (KSG-14,5 合計)		約10億円	約40億円	40億円以上
KSG[®]-22 主な使用先：メモリー 低温エッチング	量産検討		設備新設	生産・販売
売上高 計画				約5億円

トピックス（主な設備投資の状況）

投資項目	投資内容	備考
ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン (C ₄ F ₆)	400t/年 ⇒ 600t/年	・2025年度稼働予定
硫化カルボニル (COS)	150t/年 ⇒ 200t/年	・2025年度稼働予定
六フッ化リン酸リチウム (LiPF ₆)	5,400t/年 ⇒ 8,000t/年	・需要動向により稼働時期を判断
新規エッチングガス (KSG-14) 量産設備	150t/年	・2025年度稼働予定
リチウムイオン電池用 新規添加剤	蓄電池 65GWh/年相当	・2025年度Q2稼働予定
宣城科地克科技有限公司	I 期工事（フッ化アンモニウム） II 期工事（WF ₆ 、C ₄ F ₆ 、CF ₄ ）	・I 期工事：稼働中 ・II 期工事：試運転開始、認定作業中

1. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

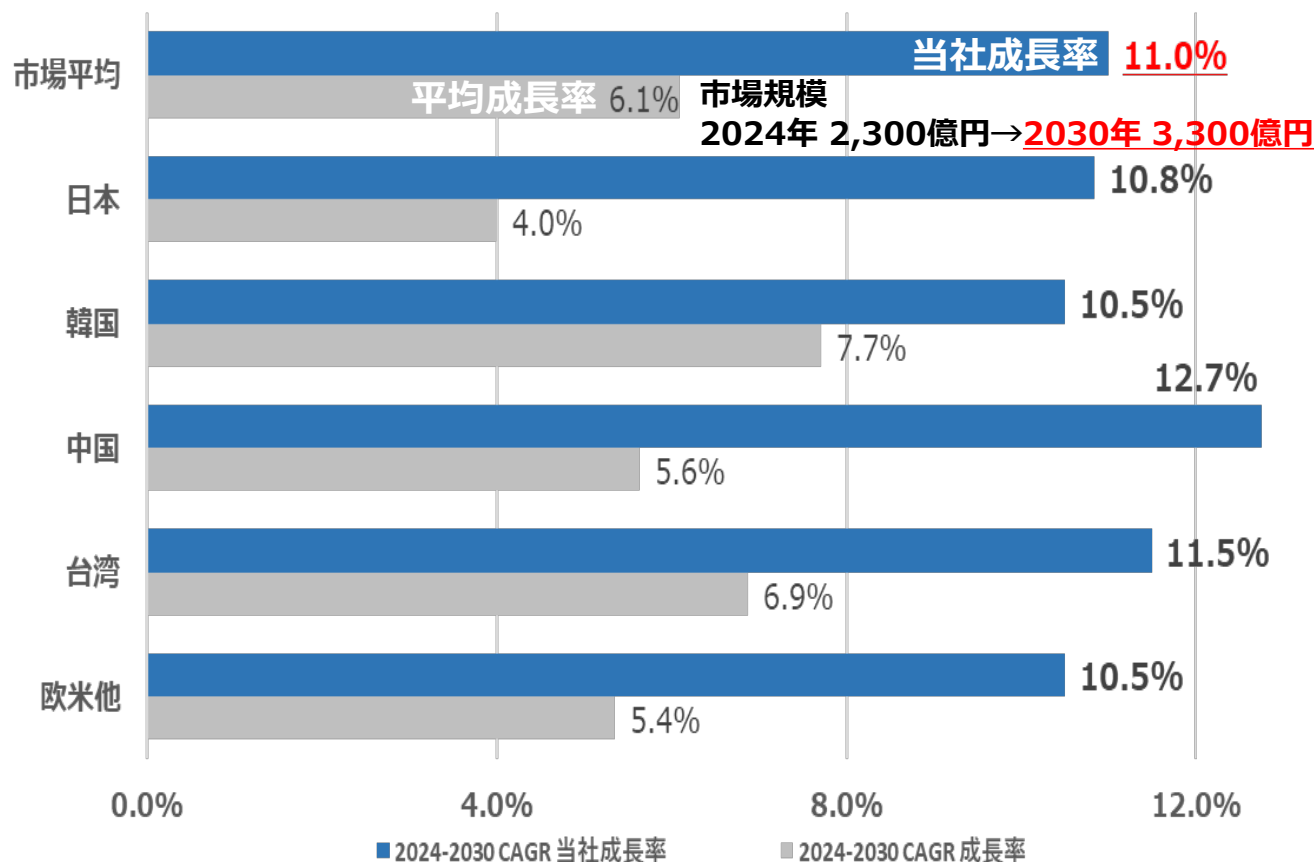
2. 業績見通し・今後の動向

3. 補足資料

特殊ガスの今後の見通しと戦略

- 半導体エッチング&クリーニングガスの市場規模は2030年に3,300億円*に成長見込
- 当社CAGR(2024-2030年)は市場平均6.1%*に対し11.0%を想定
- 当社目標シェア(2030年)は25%以上

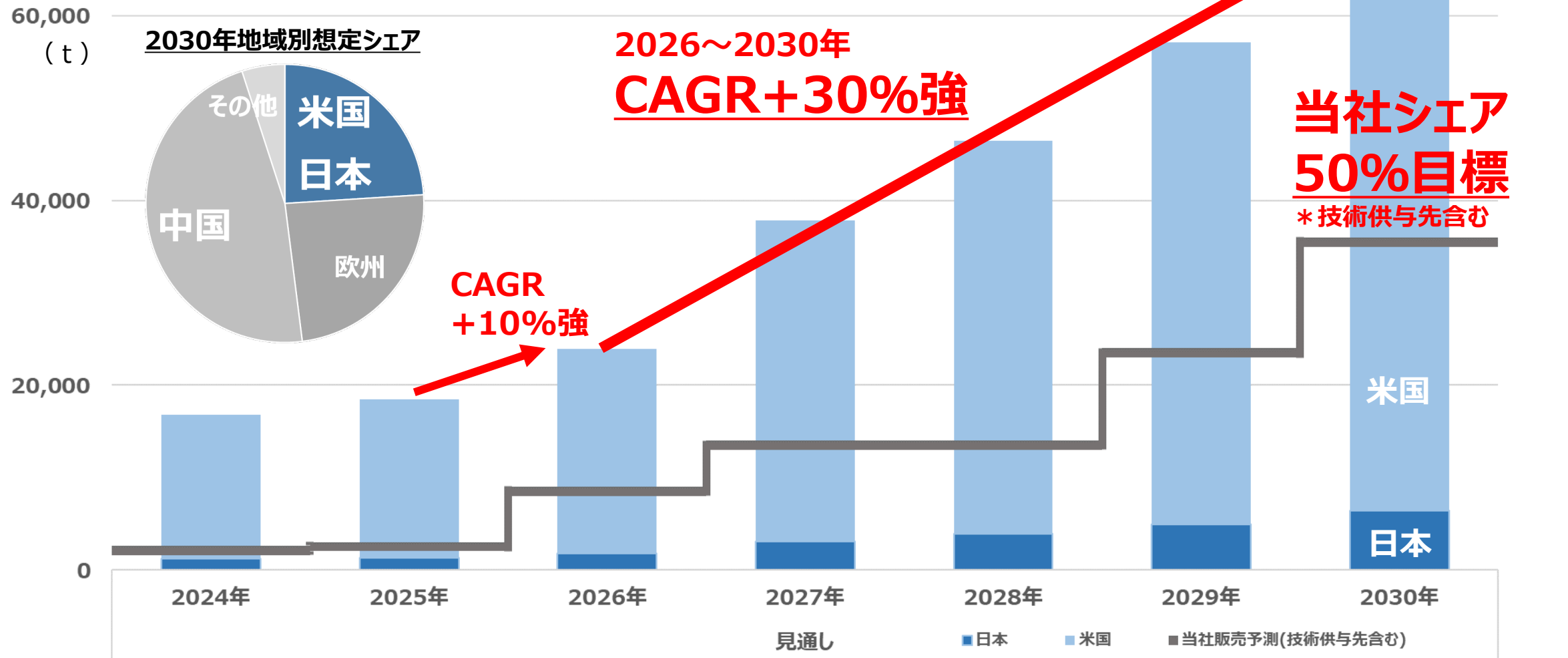
*当社予想



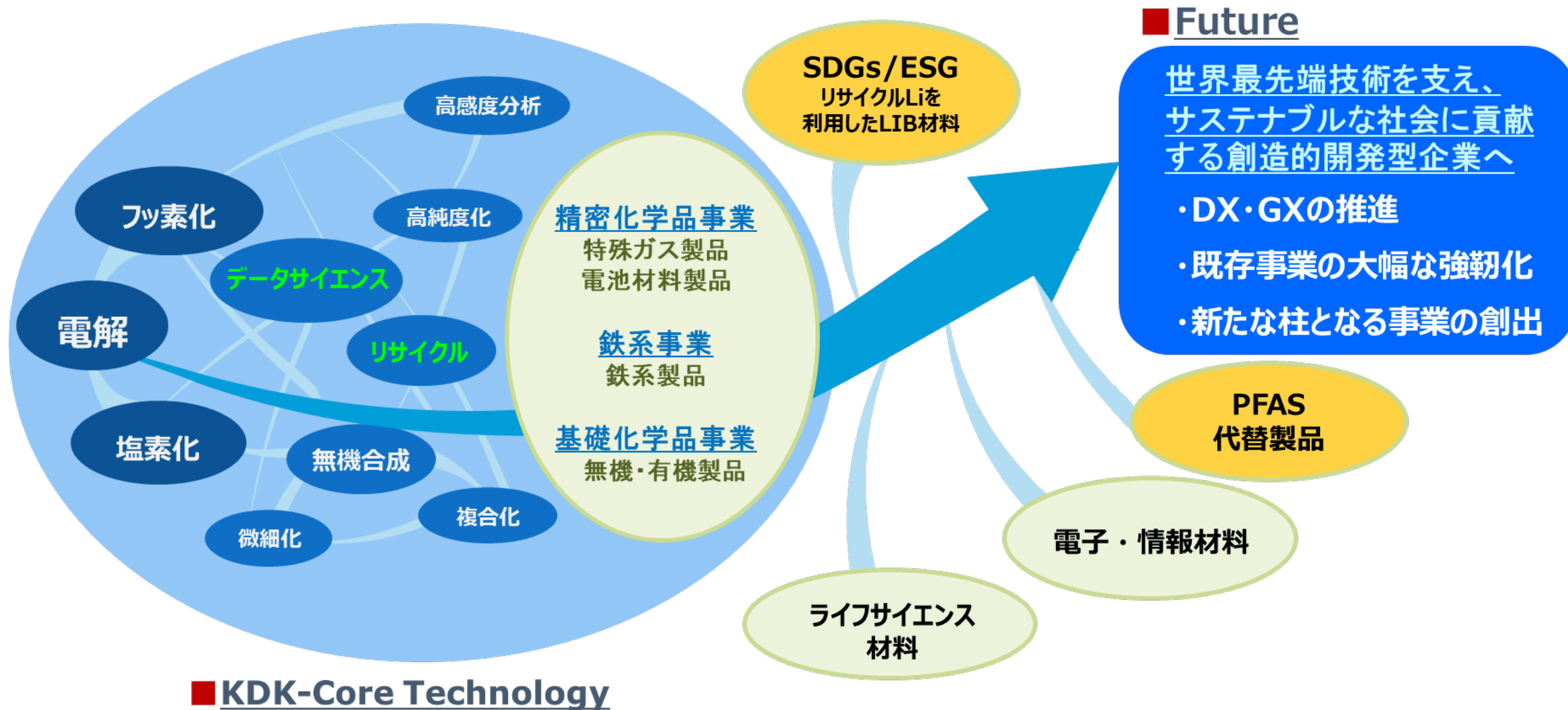
	施策・戦略
日本	渋川・水島工場の生産設備拡大 KSGシリーズの販売拡大
韓国	韓国工場の生産拡張、品種拡大、新製品投入 韓国開発拠点の活性化
中国	中国工場稼働本格開始 韓国工場、渋川・水島工場との連携生産 中国協力企業との連携
欧米他	ライセンスを含めた生産拠点の検討開始 設備メーカー、顧客との開発へ拠点新設

今後の電池材料（LiPF₆）の見通し

- 当社が狙う市場は米国 & 日本市場
- 米国 & 日本市場は2030年に70,000 t *に成長見込 *当社予想



当社技術と事業方向性



名 称		内 容
基礎化学品 事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学品 事業	特殊ガス製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、KSG-14、KSG-5等
	電池材料製品	六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム、ジフルオロリン酸リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。